

第 1 回看護研究会

(新任看護師教育研修会)

平成29年 6月17日 (土)
岡山ロイヤルホテル 2階 光楽の間

[午前] 講演

『心を伝える』

講師 金田病院 フロアマネージャー コンシェルジュ 細田 麻衣子 氏

[午後] 講演

『患者に学ぶ看護の仕事とその魅力』

講師 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科

教授 秋元 典子 先生

(一 社) 岡 山 県 病 院 協 会

(注：類似した感想はまとめています。)

第1回看護研究会（新任看護師教育講座）のアンケート集計（平成29年6月17日）

（56病院 241名出席 ・ 233名回答）

1. 講演『心を伝える』を聞いて。

（講師：金田病院 フロアマネージャー コンシェルジュ 細田麻衣子氏）

A.

a.大変勉強になった	168名	c.勉強にならなかった	3名
b.勉強になった	61名	d.全く勉強にならなかった	0名

未記入1

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ マナーや接遇が理解できた
- ・ 医療従事者も接遇が大切だと思った
- ・ 接遇の持つ力を理解することができた
- ・ 接遇を大切に患者と関わりたい(2)
- ・ 接遇について、もう一度学ぶことができた
- ・ 接遇の大切さ・重要性・効果を、感じた・学ぶことができた(6)
- ・ 接遇を仕事に生かせるよう努力することが大切だと思った
- ・ 接遇について改めて考える・振り返る機会を得られた(4)
- ・ 接遇について学べたので、患者さんとの接し方など見直そうと思った
- ・ 接遇について少し理解できたと思う。Nsとして患者さんに安心を与えられるように頑張りたい
- ・ 接遇について見直し、患者様へのおもてなしの心を育もうと感じた
- ・ 接遇について今一度自分を見つめ直し、日々の仕事に生かしていきたいと思う
- ・ 社会人として、Nsとして、患者さんや家族に対する態度や言葉遣いを見直す良い機会になった
- ・ 医療の提供だけでなく、心を伝えることは大切だと思った
- ・ 一人の人として患者様に接遇をしていきたいと思った
- ・ 波紋を起こす最初の1滴になれるように頑張っていこうと思う
- ・ 患者さんとの接し方のポイントや大切な点を学ぶことができた
- ・ 患者さんが医療弱者であることを忘れずに、接していきたいと思った
- ・ 自分の患者さんに対する接し方を改めて考え、行動していきたいと思った
- ・ 患者さんとの向き合い方を改めて振り返り、講義を活かしていきたいと思う
- ・ 人への接し方や伝え方を、受ける側になって考えるとどうしたら良いのか分かりやすくなると思った
- ・ とてもポジティブな気持ちになった。笑顔を忘れず顔張ります!!
- ・ 医療接遇がどれほど大切かということを知り学ぶことができた
- ・ 医療接遇の大切さを知り、患者様の気持ちを考えながらコミュニケーションを取っていこうと思う。
心のケアをしっかりと提供できるよう、いろいろなことに気付いていきたいと思った
- ・ 患者様との信頼関係をより良いものにするためにも、今後更に医療接遇に磨きをかけ頑張っていきたい
- ・ 医療接遇について深く学べた・大切さがよく分かったので、患者様に関わる際に心掛け、より良い信頼関係を築いていきたいと思う(2)
- ・ 看護をする上で接遇は大切になってくる。患者に対していつでも思いやりを持ち、コミュニケーションを取りながら少しずつ信頼関係を築いていきたい
- ・ 接遇について改めて学ぶ機会となり、患者さんに寄り添った思いやりのある看護を提供し、患者さんの満足度も上げることができる関わりをしていきたい

- ・ 丁寧に患者さんに寄り添った関わりをしたいと思った(2)
- ・ できることも少なく自信もあまり持てない時期だが、患者さんや家族の話を傾聴したり笑顔で接することはできるので、接遇を大切にして信頼関係を築けるように頑張っていきたい
- ・ 患者さんと関わる上で接遇を知っておくことは大切だと思った。患者さんを支えられるよう、声掛けできる看護師になりたい
- ・ 医療現場において接遇は大変重要になってきていると感じた。患者様に寄り添い関わっていきたい
- ・ 接遇について大変いい勉強になった。いろいろな面を含めて話し方や表情や患者さんの立場から接遇を考えることは一番大切なこと
- ・ いろいろな患者さん、その家族、スタッフがいる中で、きちんとした接遇をし続けることは大変なことだが、一人ひとりの患者さんに向き合い心を込めて接することが大切だと思った
- ・ 耳が痛くなる話もたくさんあったが、接遇の大切さが身に染みて分かった。まず言葉遣い・笑顔から行動をしていこうと思った
- ・ 看護師の経験がない方のお話は正直どうかな？と思ったが、実際お話を聞き、接遇について知らないことをたくさん学べた。医療者のマナーをしっかりと考えて今後に活かそうと思った
- ・ とても心を揺さぶられた。今後の働き方の意識付けとなる講演だった。毎日自分の言動を振り返り、スタッフにも伝えていきたいと思う。清々しい気持ちになった。ありがとうございました
- ・ 患者さん・ご家族への接遇について、自分の至らない点が様々あったことに気がついた。今回聞いたことをこれからの関わりへ活かしていきたいと思う
- ・ 今後の働きに生かしたい！と思うことばかりだった。自分の職場での接遇が、合っていたこと・間違えていたことが分かって良かった
- ・ ご家族への対応や目元だけの印象など、日頃の自分を振り返ることができた。気配りや声掛けができるようになりたいと思う
- ・ 今まで行ってきた患者さんとの関わりを振り返ることができた。心を形(態度・言葉)にすること、笑顔を中心掛けて接遇を意識した関わりをしていきたい
- ・ 言葉遣いや礼儀という当たり前のことがどれだけ社会人・医療人として必要であるか、どれだけ関わる人に影響を与えるのかを理解することができ、今後に生かしていこうと思った
- ・ 全ての人と接する上で、接遇ということを考えながら、声掛け一つ・表情一つにいつも気をつけながら仕事をしていきたい
- ・ 患者さんとの関わり方・声掛けを工夫していきたいと思った(2)
- ・ 患者だけでなく、家族を含めた関わりを大切にしたいと思った
- ・ 患者さんとのコミュニケーションの取り方が参考になった
- ・ 患者さんの名前を呼んで接することで、患者さんが安心感や親近感を得られることを学んだので、しっかり患者さんの名前を呼んでコミュニケーションを取っていこうと思った。看護師8年目になるが、改めて接遇を学べて良かった
- ・ 依頼形で話すことで、患者様と円滑なコミュニケーションを図る
- ・ 接遇に対する意識が変わった。不快感を与えないためにも日頃の対応を見直してみようと思った
- ・ 自分の関わり一つで、相手の気持ちを不快にさせたり安心感を与えられたりすることを改めて実感し、丁寧な関わりを心掛けようと思った
- ・ たとえ技術が上手くなくても、声掛けができる方が患者さんにとって印象が良いということが分かった。技術がまだ伴っていない自分にとって希望というか…。患者さんとの接し方から頑張ろうと思った
- ・ 医療接遇は患者さんの心のケアに繋がることを知った。これからは自分がどのように関わっているか考えながらケアしていきたい

- ・ 業務だけでなく、言葉や態度に心を込めていくことが大切であると学ぶことができた。これからも心のケアに重点をおいていきたい
- ・ どんなに頭が良くても仕事ができても、思いやりの心がなくては患者さんや同業者と良い関係を築くことができない。接遇の大切さを改めて感じた。相手を思う気持ちを大事にしていきたい
- ・ 相手の気持ちを、くみ取れるようになりたい・考えて行動しようと思う(2)
- ・ 相手のことを考えた心遣い・気配りができるように頑張りたい
- ・ 常に相手のことを考え、周りの目を意識して行動したい
- ・ 常に相手を思いながら関わり、ケアを行っていききたいと改めて思った
- ・ ご自身の体験も交えての内容だったため、心を打たれた
- ・ 体験談を聞くことで、患者さんや家族の立場から見た看護師の存在を知ることができ参考になった
- ・ 声掛けの大切さに改めて気づけた。経験談にもあったような看護師になりたいと思った
- ・ 一つひとつの声掛けや思いやる気持ちを大切にしていきたいと感じた
- ・ 自分の経験を話してくださりありがとうございました。心のケアができるように寄り添える看護を目指していきたい。赤・青カードが意思表示をしやすかった
- ・ 患者さんのことを主体的に考え、看護していこう・心のケアができるようになりたいと思った(2)
- ・ 相手を思っでの行動が時に望まれていないこともあるということを知り、相手の気持ちを確かめること（聞いてから行動すること）が大切だと思った(2)
- ・ 患者さんのためと思っで行っている自分の行動が、本当にその患者さんのためになっているのか、改めて考え直そうと思った
- ・ 相手の気持ちや考えをしっかりと聞いて、相手に合わせた対応をすることが大切だと改めて考えることができた。患者様やご家族のことをもてなす気持ちを持って働いていきたいと思った
- ・ 患者さんのためにも思っても、本当にそれが患者さんにとって必要なことなのか一歩立ち止まり、客観的な目で見えて考えて行動したいと思った
- ・ 患者さんや家族の希望と、自分が思いやりと思っていることが違うこともあるので、背景なども考えながら行動しようと思った
- ・ 意識していても、患者さんの状況・立場を考えて行動していなかったと感じることができた
- ・ 患者さんの回復には、現在の状態や治療に対する意向を把握し、求めていることを自分自身知っておく必要があるように思っ
- ・ 先入観にとらわれず、患者さんに対して何が必要になるか考えていくようにすることと、笑顔でいることを心掛けようと思っ
- ・ いろいろな考え方や捉え方があることを理解し、患者さんの気持ちに寄り添いながら言動していきたい
- ・ 良い看護サービスを提供するように、相手の立場に立って考える
- ・ 外来で待ち時間が長くなることがよくある。クレームを防ぐ対応も必要だということを知り改めて感じた。「進行状況を伝える」を心掛けたいと思っ
- ・ 「あとで」ではなく、具体的にどのくらいかかるのか伝えるようにする
- ・ 言葉で環境が変わる。方言ではダメ。ちゃんと建前が必要
- ・ 患者さんの人柄に合わせた言葉遣いと、馴れ馴れしい言葉は違うことを意識させられた
- ・ 言葉掛け一つで病院の質・看護師としての質が問われることが分かった。今後に生かしていきたい
- ・ 接遇は人と関わる上で必ず必要になると思っ。病院の中で1人でも悪い対応をすると病院全体の印象が悪くなってしまっので気をつけたい
- ・ 100-1=0の意味を知り、自分の行動・態度が病院全体のイメージに関わることを心に留めて日々患者さんと向き合っていかなければならないと思っ

- ・ 接遇は $100-1=0$ ということを知り、今後自分の行動・発言には気をつけていきたいと思った
- ・ 接遇は患者さんのためのものだけではなく、自分や病院の印象にも繋がるため、接遇のことを理解し気持ちの良い仕事をしたい
- ・ 自分の対応一つで病院のイメージに大きく影響するということが改めて分かった。接遇という難しいイメージだが、笑顔を大切に心を寄り添う対応をしていこうと思う
- ・ 社会人、医療人としての接遇ができることは、病院・スタッフサービスの指標にもなる。普段から意識した行動は難しいかも知れないが、患者・家族だけでなくスタッフにも配慮できるようにしたい
- ・ 組織の1人として自覚を持って過ごすことが大切だと感じた
- ・ 忙しい際にする声かけ・言動に特に気をつけて、学んだ接遇を生かしていきたい
- ・ 合理性を必要とする場面においても、言葉や態度で補うことを意識しようと思った
- ・ 丁寧な言葉・態度で、患者さんの立場に立った・気持ちを考えた関わりをしていきたいと思った(2)
- ・ 自分には接遇はできない・難しいと感じていたが、講演を聴き、丁寧な言い回しや心遣いが大切であると知り、意識していきたい
- ・ 接遇によって相手に与える印象は変わるため、丁寧な言葉遣い・態度ができるよう努力したい
- ・ 言葉遣い次第で相手に与える印象が大きく変わるのだと思った
- ・ 話し方や態度、失敗しても反省だけで終わらず、患者さんに積極的に関わっていききたい
- ・ 実習中によく言葉遣いについて注意されていた理由が改めて分かった
- ・ 敬語に気をつけていこうと思った
- ・ 日頃の言葉を振り返る機会としたいと思った
- ・ 否定形は使わないようにする
- ・ 笑顔や視線を合わせることなど意識する
- ・ クッション言葉を今後も意識していこうと思う。また笑顔を忘れないことを常に考えながら日々看護していきたいと思う
- ・ 患者さんと接する際は、「笑顔で」「分かりやすい言葉遣いで」接することを心掛けようと思う
- ・ 言葉遣い・表情(笑顔)に、気をつけていきたい・丁寧にしたい・細かい配慮をしようと思った(9)
- ・ 自分達の関わり・表情・声掛けが患者さんや家族に与える影響はとて大きくなっていると感じたので、一つひとつの声掛け・表情に気をつけて関わっていけるようにしたい
- ・ ベッドや車椅子の患者さんには“無表情+あごを上げる”状態に見えるため、きちんと視線を合わせるように心掛けようと思った
- ・ 短所は長所に変わるということを知ることができた
- ・ 短所の見方を変えて長所にするので、新たな自分を知ることができた。表情や言葉などは意識して変えていけるものなので、学んだことを明日からの勤務に活かしていきたい
- ・ 少しずつ立ち立つことも増え、仕事に対する不安や未熟さ・自信の無さに悩んでいる。本当に看護師に向いているのか全く分からない。短所もたくさんある。それを長所に考えるということをしてみて、ああこうやって前向きに考えることもできるんだと思った。今自分にできること、接遇を大切にしようと思った
- ・ マスクをしていても表情は分かること、大切だと思った。笑顔を中心かけたいと思った(2)
- ・ 新人でもできる表情に気をつけて、笑顔で患者さんに接したいと思った
- ・ まず身だしなみや挨拶からきちんとできるようになりたいと思う
- ・ 患者さんに与える第一印象に好感を持たれるよう、表情や言動に特に注意したいと感じた
- ・ 自分の第一印象を良くし、相手を思いやれる人に！
- ・ 笑顔・挨拶・身だしなみなど第一印象が大切で、日々しっかり患者と関わっていききたい
- ・ 今後笑顔や態度に注意し、看護ができるように心掛けていきたい。貴重な講演を本当にありがとうございました
- ・ 自分の表情や態度が今のままで良いか見直して、笑顔で接することができるようにしていきたい
- ・ 忙しい業務の中でも、笑顔を忘れないように気をつけなければいけないと思った(2)

- ・ 第一印象が大切だということが分かったので、笑顔を意識しなくてもいいくらい習慣になるように取り組んでいこうと思った
- ・ 第一印象がすぐに決まるということで、初めの挨拶は気をつけて笑顔でしようと思った
- ・ 相手に与える印象は数秒で決まるため、笑顔や話し方も印象に含まれるということを学ぶことができた。笑顔を絶やさないようにしたいと思う
- ・ 笑顔で過ごすことで相手に好印象を与えると改めて分かり、取り組んでいこうと思った
- ・ 笑顔・笑顔の大切さ(7)
 - ・ 笑顔で患者さんに対応する・関わること(6)
- ・ 心を込めて笑顔で看護を提供していきたい
 - ・ 笑顔で患者さんに接して心のケアを行っていく
- ・ 笑顔で相手を思いながら看護をしていきたい
- ・ 笑顔の大切さ、コミュニケーションの難しさを学ぶことができた。笑顔を忘れず働いていきたい
- ・ 笑顔でいることで余計なトラブルも抑えられ、より患者との信頼関係もできるなら、笑顔を頑張っていこうと思った
- ・ 思いやりを持ち、笑顔を忘れることなく患者様・ご家族と接していこうと思った
- ・ 技術不足や時間的余裕のなさを、笑顔・挨拶・言葉遣いなどコミュニケーションで補っていきたい
- ・ 自信のなさから自然とコミュニケーションが少なくなっていた。技術は練習しないと上達していかないが、笑顔やコミュニケーションは今の自分にもできることなので、しっかり意識していきたい
- ・ 知識・技術不足で日々の看護に自信がなくなっていたが、マナーや笑顔ならできるので、忘れないように頑張りたいと思った
- ・ 10年以上Nsをしており、今年4月に再就職。2か月経過しいろいろと考えることがあったが、“笑顔は相手に心地よさを与える”笑顔がもたらす影響を考え直し、業務に取り組みたい
- ・ 日々の学習
 - ・ 電話対応は簡潔にしようと思った
- ・ 見られているという意識をもって働く
 - ・ 電話等では、迅速・正確・簡潔に伝える
- ・ 患者・家族にいつも見られているということを忘れず、業務を行う
- ・ 人に見られていること、常に意識することを忘れないようにしたい。ありがとうございました
- ・ 今後、言葉遣いや常に見られているということを意識して、業務に取り組んでいきたいと思う
- ・ 指導する立場なので、「指導は後で」に同じ事を言っていたと気付かされた
- ・ スライドに対応した資料にしてほしい。既知の内容だった
- ・ パワーポイントの資料をもっと分かりやすく。1時間講演を希望
- ・ 動けない・話せない患者さんがほとんどで、接遇より業務効率を優先させているので、役に立ちそうにない

2. 講演『患者に学ぶ看護の仕事とその魅力』を聞いて。

(講師：甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科 教授 秋元典子 先生)

A.

a. 大変勉強になった	177名	c. 勉強にならなかった	1名
b. 勉強になった	55名	d. 全く勉強にならなかった	0名

B. 感想や、今後自分で取り組んでいこうと思ったことがあればご記入下さい。

- ・ おもしろかった・楽しい講演だった(3)
 - ・ 感動した・とても感動した(2)
- ・ 経験談（失敗談）にとっても励まされた・元気づけられた(3)
- ・ 先生の励ましで、また看護師として頑張っていこうと思った
 - ・ 自信に繋がった
- ・ 先生の経験を聞き、この仕事を続けてみようかなと思えた

- ・ どの話にもとても共感でき、新人時代の話がとても面白かった。今日一日でとても勇気づけられた
- ・ 新人の自分達に向けた温かいメッセージをしっかりと受け取り、今後自分が目指す看護に向かって進んでいこうと思う。本当にありがとうございました
- ・ 経験すること、苦しかったことはみんな同じだと分かり、自分も頑張ろうと思った(2)
- ・ 誰しもビギナー時代があると知った。1年はバタバタしながら成長していこうと思う
- ・ 誰にでも同じような思いや体験があるのだなと思った。患者さんに関心を持ち、より良いケアリングができるようにしていきたい
- ・ 今自分が悩んでいることは、皆が考えていることで、少し心が軽くなった。看護師を目指したきっかけや思いを思い出した
- ・ 先生のような方でも、新人の頃は「あほみたいな新人」だったと知り、勇気をもらえた
- ・ とても立派な講演をしてくださる先生も、新人時代は失敗が多かったと聞き、自分ももっと先を見て働いていこう、失敗からしっかり学ぼうと思った
- ・ 140万人のNsが頑張っているのだから、頑張りたい(2)
- ・ いつかできると信じる。そして、できるようになる!!
- ・ 今はできなくても・失敗ばかりでも、きっとできるようになることを信じて頑張ろうと思った(2)
- ・ 新人時代の失敗は誰でもある。失敗はいつか乗り越えられると聞き、安心して頑張ろうと思えた(2)
- ・ 新人で何もできなくても、いつか良いNsになれるのかなと希望が持てた。少しずつ分からないことも分かって理解できるように1つずつ確実に身につけていけたらと思う
- ・ 今の自分で未来を測らないようにしようと思った。絶対できるようになる!!そんな自信を持つことは到底できそうにないが、先生の言葉を糧に今を精一杯やっていきたい。何事も患者の為に忘れずに
- ・ 自信がない気持ちは誰もが持つものだと感じ、すぐに諦めず、日々少しずつ自信をつけていこうと思う
- ・ 「一度失敗したことは繰り返さない」という言葉は確かにそうだと思った。失敗を恐れてばかりでは成長に繋がらないと感じた。どんなに未熟でも先生のように粘り強く頑張れば、しっかりと看護師として働ける日が来るのかな、と感じた
- ・ 看護師になれた喜びもあったが、自分には向いていないのではないかと感じていた。講義を受けて、続けていけたらできるようになると信じて頑張りたいと思った
- ・ 看護師ということに誇りと身の引き締まる思いを感じた
- ・ 看護師という仕事に改めて誇りを持つことができた
- ・ 看護師という職種を誇りに思おうと思った。今とても大変な時期だが頑張ってみる
- ・ 看護師として自信を持っていこうと思った。ありがとうございました
- ・ 看護師になり、本当に望んでいた道なのかと思っていましたが、看護師の仕事の素晴らしさを再確認できた
- ・ 看護師になって3年目だが、改めて看護師の素晴らしさを感じた。これからももっともっと素敵な看護師になりたいと思った
- ・ 今回学んだことを自分の看護に取り入れたいと思った
- ・ これから自分も看護の仕事に魅力を見つけて前向きにいこうと思う
- ・ 看護に前向きになりたいと思った
- ・ 常に学ぶ姿勢で楽しく働こうと思った
- ・ 看護師の業務を改めて知れた
- ・ 改めて看護師は患者さんにとって大きな存在であることが分かった。だからこそ、日々の関わりで気をつけていかなければならないことが多くあると感じた
- ・ 先輩の手技の一つひとつの理由を考えながら、日々勤めようと思う
- ・ 今は分からないことでもそのままにせず、しっかりと勉強して成長していこうと思った

- ・ 毎日大変でも、やりがいを感じながら頑張りたいと思う
- ・ 学生時代を思い出し、初心に戻ることが大切だと実感した
- ・ 貴重なお話ありがとうございました。6年経った今でも看護に対して疑問も多い。自分の話したこと、行ったことが患者さんにとって良かったのか考えてしまう。でもこの繰り返しで学んでいきたいと思う
- ・ 慢心的な看護になっていたの、考えるいい機会になった
- ・ 普段の自分を振り返り、これからどうしていきたいか考えることができた
- ・ 看護の仕事について知ることができ、看護師としてもっともっと成長していきたいと感じた
- ・ 看護師のこと・業務や役割について学べた。実話をもとに講義してくださりととても参考になった
- ・ 自分達の役割、できることを再確認することができた(2)
- ・ 改めて看護師とはどういう職なのか、振り返ることができた
- ・ 看護師の役割をきちんと理解できた気がする。学生では感じるができなかったことを学んだ
- ・ 看護師の仕事は何かという原点に帰り、患者さんの気持ちや思いに応えられるよう努力していききたい
- ・ 自分の看護観にいくつも追加された。今日この場に来て良かったと思えた
- ・ 看護とは何かを再確認できた・考えることができた(4)
- ・ 看護とは何かと考えたときに、自身の成長に繋がるヒントが見えてきた
- ・ 看護とは何か、いつか自分なりに分かる日が来るまで続けていけたらといいなと思った
- ・ 看護とは何か、患者さんから学ぶこと、看護師だけができることを改めて考えることができ、そのことを忘れずに仕事できるようにしていきたいと思った
- ・ 改めて看護について考えさせられた。業務を覚えることに必死で、看護をあまり行えていない部分もあるので、講演を思い出しながら患者さんのことをきちんと考え、看護を行えるようにしたい
- ・ 看護とは、を考えることができた。今後、自分の看護がもたらした結果・ケア内容・声掛けなど注意していこうと思った
- ・ 事例で看護とはを学び、患者さんの思いも少し学び、もう一度自分自身の看護とはを考え直していきたい
- ・ 看護とは何か改めて考えることができた。新人で毎日周りが見えていなかったが、本当にやるべきことは何か考えさせられた
- ・ 看護とはどういうことか再度考えさせられ、当人しか行き着かない答えの基盤が少し理解できた気がする
- ・ 看護の魅力について再度考え、自分にできる看護を精一杯実施していこうと思った
- ・ 看護という仕事について改めて考えることができたと思う。患者さんの生活を支える援助、その人らしい暮らしができるよう安全・安楽に行われることによりもたらされる結果、そこに辿り着くまでのプロセス、が看護の魅力であると感じた。患者さん・ご家族との関わりの中で自分がもっと成長していくことができるように頑張ろうと思った
- ・ 看護師だからできることがあると思うので、自分ができることを精一杯していきたいと思った
- ・ 看護師は患者さんを傷つけることもできれば、癒やすこともできる人だということを改めて学んだ
- ・ 看護とはどういうものか、自分なりにもっと考えていこうと思った。患者さん中心の患者さんの為になる看護ができるようやっていきたいと思う
- ・ 先生のように、常に看護を考えながら自分の看護を深めていきたい。看護師としてできることを考えながら看護をしていきたい
- ・ 自分は看護師ではないが、看護＝命を守ること・暮らしを整えることはとても大切なことと思った
- ・ 看護師だけができる看護に誇りを持ってやっていきたい
- ・ 看護師として実践していくべきことが何か改めて学べた
- ・ 看護師として何ができるか考えていきたい
- ・ 療養上の世話の大切さを今一度確認できた
- ・ 看護師の独自性を改めて感じた
- ・ 療養上の世話を大切にしていきたい(2)

- ・看護とは何か、療養上の世話とは何か、今までの経験と統合できた
- ・看護とは何か、生活を支援するため少しでも過ごしやすくできるよう考え実践していこうと思った
- ・普段何気なく行っている日常生活の援助を、患者さんの立場に立って行いたい(2)
- ・看護師の専門性や独自性をもう一度見つめ直すことができたので、積極的に行動し経験を積んでいって自信をつけていこうと思った
- ・授業で習った看護師の独自性の「療養上の世話」。なかなか上手く行動に移せず頭で理解している状態だった。すぐに実践というのは難しいが、ふと今回のことを思い出して仕事できたらと思う
- ・診療の補助にばかり目が行きがちだったが、療養上の世話こそ看護師の仕事だと思った
- ・看護の中で療養上の世話、生活の支援がいかに大切か、普段気にかけていなかったし重要なことと捉えていなかった。看護師にしかできない療養上の世話を大切にしていこうと思った
- ・看護師にしか療養上の世話はできないと再確認したので、仕事(看護)を頑張ろうと思った(3)
- ・看護師は療養上の世話ができる唯一の役割であり、改めて看護師という仕事に魅力を感じた
- ・看護師の唯一の仕事として療養上の世話が、これが看護師のみの力であり、もっと突き詰めて考えていきたいと思った
- ・看護師は療養上の世話を行える点が、他の職種と違うということがよく分かった
- ・療養上の世話ができていくかいつも考える。看護とは・・・学んだことを心に留めながら、今後も働いていきたいと思った
- ・改めて看護師の役割を考えることができた。今回をきっかけに「看護」を実践していけるように学んでいきたいと思った。ありがとうございました
- ・エピソードを聴き、今の自分の看護は患者さんの為になっているか、不快感を与えていないか考えることができた。今後は、療養上の世話、診療の補助ができるのは看護師だけということのを忘れないように業務を行っていききたいと思う
- ・他職種ができない療養上の世話を、患者の気持ちを考え傾聴しながら動くことが重要であり、看護の基本を見直して日々の業務に取り組みたいと思った
- ・療養上の世話と診療の補助、両方ができることが求められているということを意識しながら仕事に取り組んでいこうと思う
- ・術後口腔ケアや体位変換を行っているが、その行為にも意味があり、患者は何を訴えようとしているのか患者の立場になって考えることの大切さを学ぶことができた。当たり前に行っていることにも必ず意味があることを考えながら看護を行ってほしい
- ・看護師は療養上の世話と診療の補助を業としているが、看護師特有の業務として誇りを持ちたい。患者さんの生活をしっかり支援できる看護師を目指す
- ・Nsの仕事として“療養上の世話”が行えることは大きな魅力であり、Nsにしか行えないこととして誇りを持ち、患者の気持ちをよく理解してケアしていけるようになりたいと思った
- ・自分は「患者さんの生活の場」にいる、ということ意識する
- ・患者さんの生活の場(病室)で気になる所があれば、良い環境になるよう整えていきたいと思った
- ・患者さんの生活を支えることができるよう、日々の看護をしっかりと行う
- ・初心を忘れず、一人ひとりの患者様との関わりを大切にしていきたいと思った。どんな時でも相手の状況・状態を把握し、よく見て行動していきたいと改めて思った
- ・業務を早くスムーズに進めること、時間内に終わらせることに一生懸命になっていたが、患者さんの生活に寄り添うことが看護師の役割だったと、初心に戻ることができた
- ・日常生活を支えるということは看護師にとって大きな役割だと改めて分かった。オムツ交換、体位変換、清拭など一つひとつ心を込めてケアをしていこうと改めて思った

- ・ 清拭や排泄ケアが流れ作業になりつつあった。看護師ならではの病態を含めたケアを考えて取り入れていきたい
- ・ 看護師は他の医療職にはない療養上の世話ができるということの大切さをしっかり頭に留め、患者さんのために、良い仕事ができるよう・寄り添えるよう努力していきたい(2)
- ・ 看護師にしかできない療養上の世話などを、患者さんの気持ちを考えて、少しでも「力になってくれてありがとう」と思ってもらえるような関わりをしていきたい
- ・ 患者さんと話ができていると思っていたが、心のケアは看護師が直接することではないと聞き、生活の援助から心を聴いていこうと思った。新しい発見だった
- ・ 時間が無く、患者さんとコミュニケーションがとれない、心のケアができていると感じていたが、身体のケアや日常生活行動の一つひとつを援助した結果、心の安寧に繋がる(もたらされる)ということを知り、はっとさせられた。Ns 独自の療養上の世話を大切に、患者さんの望んでいること、できないことを援助できるようにしていきたいと思う
- ・ 無理に患者さんの心のケアをしようとしなくてよいことが分かり安心した。私達は「からだ」と「生活」の援助をすることが仕事であって、自分達の仕事を全うすればよいと分かりこれまでの自分の看護観が間違っていたことが分かった
- ・ 個別性を大切に、身体的ケアから患者様の心を支えることは大切だと感じた
- ・ “Ns は体のケアを行うことにより心のケアが行えるのである”。この言葉を胸に行っていた。この言葉は学生の時に聴き学びたかった。Ns は心のケアを行うものだと学んでいたため、学生の時に聴いていれば、実際に働き出してからギャップが生まれなかったと思った
- ・ 看護師は身体のケアを通して結果的に心のケアをしているということを知った。患者は看護師との相互関係によるコミュニケーションによって主体的に取り組む意欲が培われることが分かり、患者と接する際にはその点を頭に入れて接するようにしたい
- ・ 看護ケアでは回復や意欲が向上するということを知ることができ、今は目の前のことでいっぱいだが、個別性看護を行うことができるようになりたいと思う
- ・ ただ実施するだけでなく、結果がどうなのかを考え、患者さんにとってより良い看護を実践していきたいと強く思った
- ・ 自分達の声掛け1つが患者様の気持ちを左右してしまうのだと、言葉の重さ・大切さを学ぶことができた。“患者様の抱える問題に関心を寄せる”ことから看護は始まっていくのだと感じた。自分の看護を振り返り、患者様や家族のための看護が行えるように頑張る
- ・ 日常生活ケアを通して患者の心理面にも良い効果を与えられる仕事をしたい
- ・ 患者が日常生活を維持していけるように、介助が必要な部分は介助し、できるだけ患者が自主的に治療に参加できるような関わりをしていきたい
- ・ 看護技術を日々学び、患者さんの日常生活の支援を行うことで、患者さんが力が湧くような身体と心のケアを行ってきたいと思う
- ・ ベッドメイキングや配膳一つにしても、患者さんの意欲や力を引き出すきっかけになることに気づけたので、これからも患者さんとの関わり一つひとつを大切にしていきたい
- ・ 患者様との関わり方のヒントを勉強することができた。患者様の生活を中心に考えて接することを心掛けていきたいと思う
- ・ 患者の立場に立ってもっと気配りしないといけないと思った
- ・ 援助一つでも、その患者に合わせた声掛けや方法で行い、意味のある援助にしたい
- ・ 患者が言うことをそのまま受けるのではなく、どうしてそう言っているのかを考えていく、そこを聞くことが大切だと分かった

- ・ まず患者さんに関心を持つ！ 患者さんのケアを通して成長していきたい
- ・ 患者さん第一の看護を目指す(3)
 - ・ 患者の声一つひとつに疑問を持つようにする
- ・ ケアリングを活用していきたい(2)
 - ・ ケアの大切さ・奥深さを感じた・学べた(2)
- ・ 「ケアリング」を再確認できた
 - ・ 一つひとつの看護ケアを、意識をもってしていきたい
- ・ 事務的にケアをこなすのではなく、患者さんに心の中を見られていると意識して“看護”を行いたい
- ・ 一つのケアだけでも患者さんを思いやっているか見なくても患者さんに伝わる。また、患者さんとの相互作用が大きくなるように頑張っていきたい
- ・ ケアは相互作用だと聞いて、自分が患者さんに対してやっていることも患者さんから返ってくるものだ初めて知った
- ・ 今回学んだ5つの看護ケアを根幹におき、今後の看護実践に活かしていきたい
- ・ 「共有・共感・肯定・支持・強化」を業務の中に取り入れることで、患者さんの内面をより捉えることができると思った
- ・ 共有・共感・肯定・支持・強化・尊重をコミュニケーションの中で取り入れて、患者さんと互いに繋がれるようにしたい
- ・ 共有・共感・肯定・支持・強化・尊重を根幹においてケアを行うことで、自分達や患者さんに様々な影響をもたらし、その人に合った看護が行えるようになると学ぶことができた。今後、自分も意識してその人に合った看護が行えるようになりたいと思った
- ・ 共有・共感・肯定・支持・強化・尊重を大切にしようと思った。声掛けは心のケアだと思っていたが、そうではないと学んだ。また共有すること（テレビの内容など）は情報ではないと思っていたが、小さな情報でも大切な看護に繋がると感じた
- ・ ケアリングの技を使い、対象者の入院中も退院してからも、その方が自分で「頑張ろう」と思えたり家族で問題に対処していける力を持ったりできるような関わりをしたい。身体と心の両方が分かる唯一の医療職として誇りを持つと思う
- ・ ケアリングの事例を聞いて、技術が追いついていない新人の自分たちにも、共有・共感・肯定・支持・強化・尊重はできるのではないかと思えた。少しずつでも患者さんのために頑張りたいと感じた
- ・ 患者の思いを傾聴して共感することの大切さを学ぶことができた
- ・ 看護ケアが患者さんにどういった影響を与えるのか改めてよく分かった(2)
- ・ 看護師のケアが患者さんの主体性にも繋がることが分かったので、ケアリングの技を実践していけるよう努力したいと思った
- ・ 看護ケアにとっても、患者のQOLを考えた介入をしていくことが大切であると感じた
- ・ ケアの技術だけでなく、看護の心の在りようについて見直そうと思った
- ・ 態度でもしっかり心を伝えられるようにしたい
- ・ 患者さんを常に思いやりながら過ごそうと思った
 - ・ 休憩があって良かった
- ・ 患者さんにケアをほめられたとき、頑張ろうと思えた
- ・ 介護の専門性を活かしながら、看護師の補助をしていこうと思う
- ・ 保助看法を一度じっくり読んでみようと思った
 - ・ 言葉遣いに気をつけようと思った

3. 今、悩んでいることは何ですか？ また、今回の研修で何かヒントになることがありましたか。

【悩んでいること】

- ・ 自分について
 - ・ 何をやっても上手くいかない
- ・ 失敗だらけ(2)
 - ・ 自分が看護師に向いているか悩んでいる
- ・ とにかく自信がなく、自分は看護師に向いているのか？と思うことがたまにある

- ・ 新人なのでたまに自信がないことがある。不安があるので再確認をして、仕事のスピードが落ちてしまっている
- ・ 時間管理・タイムマネジメントが下手なこと(2)
 - ・ 優先順位を適切に見極められない
- ・ 仕事の一日の流れがなかなか掴めないこと
 - ・ 情報収集に時間が掛かる
- ・ 仕事が時間内に終わらない。スケジュール管理が苦手
- ・ 時間内に業務が終わらず、先輩に迷惑をかけてしまっていること
- ・ 採血、ルート等が上手くとれない ⇒ 同じ失敗をしないように準備をして向かいたい
- ・ 仕事が遅く、要領が悪いので苦勞している
 - ・ ケアがなかなか上手にならないこと
- ・ 仕事にまだ慣れず、積極的に行動できなくて悩む
 - ・ 仕事が覚えられない(3)
- ・ なかなか積極的に行動することができていない
 - ・ 仕事をポイントで覚えられない
- ・ 自分の思っている看護をすることができない
 - ・ 分からないことを聞けない
- ・ 外来で自分ができていることが、なかなか無くて焦ってしまう
- ・ 業務を淡々と行ってしまっていた ⇒ 声掛け、態度、援助、一つひとつ患者さんのことを考え、為になるように考えながら行っていきたい
- ・ 業務に集中してしまい患者さんが見られていないことがある ⇒ ケアリングの技を身につけ、自分の看護をしっかりと振り返っていきたい
- ・ 日々の業務を覚えることに精一杯で、看護ができているのか・看護って何だろうと働き出して漠然と思うようになっていた ⇒ 定義を振り返ることで、本来の自分達の軸となる部分を再確認できた
- ・ 知識不足(3)
 - ⇒ 少しずついろんなことを学んでいく
 - ⇒ 看護師としての誇りを持って仕事をしていきたいと思った
 - ⇒ 短所をポジティブに捉え、他人の意見を聞く機会を持てたので、今後自分でポジティブに捉えられるようにしていこうと思えた
- ・ 看護師の仕事は好きでも、職場の人間関係・忙しさ・給料など納得のいかないことがある
- ・ 人間関係・職場の人間関係(5)
 - ・ 先輩が怖い・・・
- ・ 自分の意見をあまり言えないこと
 - ・ 先輩への気遣いが疲れる
- ・ 患者さん・上司との関わり・コミュニケーション(8)
 - ・ うまく患者や家族と接することができないこと
 - ・ スタッフ間や患者さんに対する説明の仕方・返事の仕方が分からない
 - ・ 患者さんの気持ちを汲み取ることは難しいと改めて感じた
- ⇒ 細田さんの、良いと思って言ったことがいけなかったというお話で、患者さんのことを多方面から考えながら関わっていきたくてと思った
- ・ 患者さんの欲求に応えるにはどうしたらよいのか。チームで動いているので自分がすればよい問題ではない。患者さんのためのケアと業務としてのケアに差があり、どうすればよいのか難しい
- ・ 学生の時のように1人の患者さんの病態や援助を行っている訳ではないので、日々これで良いのか・・・と自分の姿勢を反省するばかり ⇒ 患者さんの生活を援助すること、生命を守ることを大事にしたいと思った
- ・ 慣れないため業務のスピードが遅く、効率を重視しないといけない中で、患者さんとじっくり関わることができない ⇒ 忙しさを患者さんの前で出さないことや、〇分後に来ますと具体的に伝えることを注意してみようと思った
- ・ 何も上手いかず、技術も上手にいかないこと。業務をこなすのがとても遅く先輩に迷惑をかけてしまっていることに悩んでいる ⇒ 一つひとつ経験し勉強を積み重ねて、患者を尊重した看護を実践していきたいと思うようになった。ありがとうございました

- ・ 何もできないことに悩んでいた ⇒ 最初からできなくてもいい、接遇をしっかりと頑張ろうと思った
- ・ できない自分に落ち込む ⇒ 落ち込む、ふてる、自分は言葉にしなくても患者に伝わる
- ・ 技術に自信が持てない、周りと比べてしまってできない自分に悩む ⇒ 今はまだできないことも怒られることもあるが、少し先を見据えて、今後できるようになるよう頑張ってみようと思った
- ・ 不器用ですぐに結果がでないことが辛い ⇒ 看護や勉強は簡単ではなく、コツコツ続けることが大切だと思った
- ・ 1年目でできないこともたくさんで、経験が浅いのに先輩からめっちゃ怒られる。そんなに怒っても…[💧]って思う。これから成長していくのに、なぜ初めから怒られないといけないのか分からない
- ・ 一人の人間として患者さんと接していない看護師がいる中で、自分がその病院で勤務することが苦痛になっていた
- ・ 上司の教育方針
 - ・ プリセプターさんの期待の圧がすごく、しんどいと感じる時がある
- ・ 病棟の新人教育体制
 - ・ 勉強不足だと、病棟で働いているときにとても思う
- ・ 日々の学習が追いつかない
 - ・ 残業が多く睡眠不足なこと
- ・ 勉強不足、知識不足で先輩に聞かれても答えられないことがある。帰って勉強しようと思っても疲れて寝てしまい、起きたら朝になっていることが多く、勉強ができていない
- ・ 医師は接遇について勉強しないのか、受診するとき医師の接遇についていつも驚く

【ヒントになることがありましたか】

- ・ 今回の研修で、マナーはしっかりとしていきたいと思った
- ・ 少しずつ成長できるよう限界まで頑張ろうと思った
- ・ 患者からどのように思われているのか改めて再確認することができた
- ・ 自分自身の看護を振り返ることができるいい機会となった。ありがとうございました
- ・ 看護とは何か考え直すきっかけになった
- ・ 患者との関わり、看護師としてのあり方を考えるヒントとなった
- ・ 患者様との関わり方に悩むことが多いが、二つの講義を通じて、基本を振り返ることができた
- ・ (透析)患者さんとの接し方について戸惑っていた。自宅での生活の援助と治療をどのように結びつけていただくか等考えていた。講演を通してたくさん考えさせられる部分があった
- ・ 患者さんや職場の人との人間関係に少し悩むところがあったが、自分の何がいけなかったのか今回の研修で分かったような気がする。いけない所は気にして直していきたい
- ・ 怒りっぽい方の関わり方に少し難しさを感じていたが、患者さんの気持ちをもう一度よく考えて言動してみようと思った
- ・ 患者さんやその家族への説明・治療内容を伝えることが難しく苦手意識を持っていたが、自分が受けると考えて、客観視できるようになれたらいいなと思った
- ・ 看護や患者との関わりについて原点に戻り、大切なことを学ぶことができ、とても良い機会になった。貴重な講演、ありがとうございました
- ・ 忙しい業務の中で患者さんに関わる意味が分からなくなることがあるが、今回の研修で今後の意義を改めて感じた
- ・ 日々忙しく心に余裕が持てず業務が作業になってしまう。達成感もあまりなく、あるのは疲労感だけ…。患者様のことを考えながらも効率も考慮していかないとと思うので、心に余裕を持ちスタッフ間で協力しながら、患者様の生活の質を維持・向上できるよう看護ケアを実践していきたい
- ・ 一つのケアにこだわりすぎて先に進めず、全体のことが把握できていないことが多いので、他のスタッフの協力も得ながら、全体が見えるように、看護ができるようにやっていきたい
- ・ 明日からも患者さんにしっかり関心を持って関わっていきたい

- ・ 手術室勤務を希望していたが一般病棟に配属になりいろいろ悩むこともあったが、療養上の世話の大切さに気づけて良かった
- ・ 身体のことをよく理解し、更に療養上の世話としてケアが行えることを知った上で、何をしたら身体が楽になるか等考えることが大切であり、実践していきたいと思う
- ・ 看護師ならでの援助
- ・ 人生は常に勉強であると思わされた講義となった
- ・ 人よりできないことだらけだが、秋元先生みたいなNsになりたいと思った
- ・ 向いていない気がして、辞めて転職しようかと思っていたが、秋元先生の話聴いて、もう少し続けていこうと思った
- ・ 自分は向いていないんじゃないかと思っても、140万人も看護を職としている人がいて、特別な人しかできない職ではないということを知り、少し先を見て頑張ろうと思う
- ・ どんな方でも初めは失敗や悩みをかかえ、乗り越えてこられたのだと改めて感じ、一つひとつ乗り越え頑張っていきたいと思った
- ・ 自分は看護職に向かないと時々思う。性格的にも向いてないと思うことがあるが、講演を聴いて看護師を目指した時の気持ちや患者さんからいただいた言葉を思い出してまた頑張ろうと思うことができた。学んだことを一つずつでも実践できるよう目標を持って取り組んでいきたい
- ・ 自分に自信がなく上手くいかないと思い、先輩のようになれるのかと不安になっていた ⇒ 新人のうちたくさん経験して成長していきたいと思った
- ・ まだまだ仕事が思うようにできないことを悩んでいるが、研修を通じて、焦らず成長していこうと感じることができた
- ・ 仕事での知識の乏しさ、コミュニケーション(職員)の難しさを悩んでいたが、長所で考えていくようにしていきたい
- ・ 秋元先生の講演を聴き、自分はまだ共有や共感が全然できていないことに気付いた。頑張って看護師を続けていこうという気持ちになった
- ・ 業務がなかなか覚えられないが、失敗したことを繰り返さないためにはどうしたらよいか工夫しながら焦らず一步一步やっていきたい
- ・ 技術がなかなかできないことに左右されず、患者さんのことを考えてこれからも頑張ろうと思った
- ・ 新人で分からないことは当たり前、という言葉に励まされた。何事も頑張ろうと思った
- ・ できないことも多く、患者さんの役に立ててないと悩んでいたが、今の自分にも関わり方次第でできることはあると気付くことができた
- ・ まだ技術面ばかりに必死になって患者さんへの声かけを忘れていることがある。しかし、習慣づけていくために少しずつ声かけを多く(ポイントを絞って)していきたい
- ・ 一つの仕事に時間がかかってしまっているが、今は基礎を身につける時期であり、安全に実施することができるよう身につける時期だと感じた
- ・ 仕事が時間内に終わらないことが多くあり、先輩Nsに迷惑をかけてしまっていると毎回感じている。研修で学んだことを生かして、ゆっくりでも確実に患者さんの為になるよう仕事に取り組んでいこうと思う
- ・ 自分に何ができるのか、と悩んでいたが、自分だからできることがあると思った
- ・ 今まで患者にとって嫌な処置をする際、うまくコミュニケーションがとれていなかったのが、クッションをおいた言葉を使い行いたい
- ・ 先生の新人の頃の話が、今悩んでいる自分と重なり勇気をもたらえた
- ・ できないことが多く悩んでいるが、秋元先生のお話を聞き、先を見据えて頑張りたいと思った

- ・ 不器用なところがある自分が、Nsとしてやっていけるのか不安だったが、研修で勇気づけられた
- ・ 環境に慣れ、人間関係にも慣れ、業務も覚えていくことは思った以上に心も身体も疲弊する。自分に自信を持ってなくなってきた時、リフレーミングで短所を長所に見方を変えてみて、このような方法で何事もポジティブに捉えられたらと思った
- ・ 短所と思っていたことを長所に変えることで、ポジティブになれる・気持ちが高くなると思った(2)
- ・ 職場の上司から「傲慢である」と、自分では思ってもいない評価を下された。今回の研修で自分に足りていないものを今一度見直していきたいと思った
- ・ 少しずつできることが増えていく中で、ミスが出たりすることがあり、研修を通して患者を最優先に考えた介入ができるようにしていきたい
- ・ 日々勉強に追われ、しなければいけないこともたくさんで、心のゆとりが持てず悩んでいるが、誰しも必ず通る道なので、前向きに患者さんと向き合っていこうと思えた。ありがとうございました
- ・ 1年目なので怒られて当たり前。一人で悩まない。同期を大切にします
- ・ 今の失敗や苦しみなどはきっと良い経験になる。そして成長させていきたい
- ・ 今しんどくても、3か月後、6か月後、3年後・・・と思いながら乗り越えて行こうと思う
- ・ 秋元先生のお話は、本当に今の自分に響いた。毎日未熟さと動けていない状況に悔しくて悲しくて涙が止まらなくなる時もある。同時に、怒鳴ってくるDrに「この人が何も言えなくなるくらいできるNsになってやる」と思うようになった。3日働ければ1週間、3週間、1か月、3か月と、「ああ自分は辞めたいと思うことも多々あるけど続けられるんだろうな」と思った
- ・ 転職し、前の職場と違う事や経験したことがないことも多く戸惑っていたが、「どんなエキスパートも場が変わればビギナー」という言葉を聞き気楽になった
- ・ 笑顔で頑張ろうと思った
 - ・ 青い鳥症候群 ⇒ 考え方を変えれば楽になると思った
- ・ 特にない。毎日楽しい
 - ・ 無いです

【年 齢】

19～24歳	(174)
25～29歳	(15)
30～34歳	(16)
35～39歳	(11)
40～49歳	(5)
50歳以上	(4)
未記入	(8)

【勤務年数】

～6ヵ月未満	(186)
6ヵ月～1年未満	(2)
1年～5年未満	(23)
5年～10年未満	(7)
10年～15年未満	(6)
15年～20年未満	(0)
20年～30年未満	(4)
未記入	(5)

【職 種】	看護師 (218)	准看護師 (4)	助産師 (3)	介護福祉士 (1)
	外来フロアスタッフ (1)	作業療法士 (2)		未記入 (4)